



2025 年 5 月 15 日

各 位

会社名 共同印刷株式会社
代表者 代表取締役社長 大橋 輝臣
(コード番号：7914 東証プライム)
問合せ先 コーポレートコミュニケーション部長 山田 麗子
(TEL. 03-3817-2525)

マテリアリティ（重要課題）改定のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、共同印刷グループとしてのマテリアリティ（重要課題）を見直し、改定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 改定の目的と経緯

当グループは、10 年後を見据えた長期戦略策定にあたり、経営環境が変化するなか将来にわたって社会に求められる価値を提供し続けるためには、事業変革が不可欠であることを再確認しました。この事業変革によってイノベーションを推進し、社会課題の解決に貢献することで経営理念の実現をめざすという観点から、マテリアリティを再構成しました。

※「共同印刷グループ 長期戦略および中期経営計画の策定のお知らせ」もご参照ください。

2. 当グループのマテリアリティ

(1) 特定のプロセス

外部環境分析を踏まえ、社会課題に対する自社およびステークホルダーにとっての重要性を評価し、経営層を中心に議論を重ねたうえで、外部有識者による妥当性検証を経て特定しました。

※プロセスの詳細は Web サイトをご参照ください。

<https://www.kyodoprinting.co.jp/sustainability/materiality/>

(2) マテリアリティ

以下の 3 点を特定しました。詳細は別添をご参照ください。

・イノベーションを通じた社会課題解決への貢献

ビジネスモデル変革、ビジネスプロセス変革、企業変革を通じて自社と社会の双方に新たな価値を創出し、社会課題の解決に貢献する。

- ・ 事業成長の原動力となる人材戦略

人材ポートフォリオに基づく組織運営強化を図り、事業戦略と人材戦略の連動を強化するとともに、積極的な人的投資を進める。

- ・ 経営戦略と連動したリスクマネジメント

長期戦略の目標実現に対する影響度や財政へのインパクト、現在の対応状況を踏まえて、重要度の高いリスクを特定し、経営戦略と連動した形で適切に管理する。

3. 今後について

各テーマに対する KPI を 2025 年度上期中に設定し、経営計画に組み込んで実行します。特定した 3 つのマテリアリティに対する取り組みを相互に連携させることで、新たな価値創出を推進し、経営理念の実現をめざします。

以上

《別添》

■経営理念・長期ビジョンとマテリアリティおよび重点取り組みテーマ

